

生物多様性と農業技術革新の共存「佐渡モデル」の構築 ～ 第6期科学技術基本計画を見据えて ～

キーワード 佐渡モデル、地域社会課題解決、DESIGN-i、里山未来会議、ソリューション探索会議

地域創生推進機構 准教授 高島 徹

■概要

本学と佐渡市は、2021年度からスタートする「第6期科学技術基本計画」を見据えた、文科省の新規施策である、「科学技術イノベーション(STI)による地域社会課題解決(DESIGN-i)」プロジェクトに今年度採択されました。本プロジェクトは、佐渡の里山地域をフィールドに、地域住民と技術者等が集う対話型協働探究の場「里山未来会議」と、地域内外の多彩なSTIによる課題解決のアイデアを探る「ソリューション探索会議」を両輪に、社会実装につながるソリューションを検討いたします。生物多様性と農業技術革新が共存する新たなモデル「里山創生・佐渡モデル」の構築を目指します。

■詳細

- ・「STIによる地域社会課題解決」という新たなアプローチにより、佐渡をフィールドに地域内外の産学官金等のアクターが結集し、**佐渡版 Actor Based Community(ABC)**を構築します。
- ・「**里山未来会議**」と、「**ソリューション探索会議**」を両輪に、社会実装に資するソリューションを探索します。本PJでは、たとえば、以下のようなSTIにより、佐渡の地域課題解決を目指します。
- ・【合意形成】地域住民、技術者等との対話(佐渡センター・豊田准教授)
- ・【生物多様性】生態学(佐渡センター・満尾准教授、岸本准教授)
- ・【スマート農業】気象・農地環境推定システム、草刈りロボット、栽培管理システム、営農モデルなど(農研機構ほか)
- ・【社会実装】産学連携、事業化プロデュース (機構・高島)

世界農業遺産

「トキと共生する佐渡里山」

(H23認定)



○競合研究に対する優位性

- ・地域のニーズやビジョンを起点とした、ソリューション探索アプローチ
- ・シーズプッシュ型から**ニーズプル型産学連携**への転換
- ・生物多様性保全、スマート農業、営農モデルを三位一体化

○想定される実施例、応用例

- ・里山農業の再生(生物多様性保全型スマート農業システムなど)
- ・里山農業をもとにした6次産業化(棚田・酒米→酒造→日本酒輸出など)
- ・里山農業をもとにした観光産業化(棚田観光、農家レストラン、民泊など)

○今後の課題、展望

- ・**国際目標SDGs**達成に寄与すべく、「佐渡モデル」を県内他地域や県外海外などへ横展開。

■応用を期待する分野

- ・里山農業再生等の地域社会課題解決を目指す自治体、地域産業、地域団体等
- ・里山農業再生等の課題解決のためのソリューションやCSV等に関連する企業、研究機関等

対話型協働探究+科学技術イノベーション(STI)の試み

